

平成30年度(第13回)施設園芸技術中級講座開催要領

1. 講座目的：協会会員企業の社員ほか施設園芸技術の習得を目指す方たちへ習得の機会を提供し、より高度な施設園芸技術者を養成することを目的としています。なお、中級講座受講者には施設園芸技術指導士補の受験資格が与えられます。
2. 共 催：農研機構 野菜花き研究部門
3. 協力機関：国立大学法人千葉大学、NPO植物工場研究会
4. 開催期間：平成30年8月29日(水) 9：20 ～ 8月31日(金) 16：00
5. 研修会場：千葉大学（柏の葉キャンパス）環境健康フィールド科学センター内
植物工場研修棟A棟1階研修室（別紙地図参照）
千葉県柏市柏の葉6-2-1 TEL：04-7137-8312
（つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅から徒歩約7分）
6. 受講対象者：協会会員企業の社員ほか、農材店・農業生産法人の社員、JA職員などで次の条件を満たすものとします。
 - ①施設園芸技術初級講座を受講済みの場合は、実務経験3年以上の者。
 - ②上記の初級講座を受講していない場合は、実務経験5年以上の者。
7. 定 員：30名
8. 受講料：

1) 協会会員、行政関係、学校関係	60,000 円(消費税込)
2) 会員外企業、一般	80,000 円(同上)

※ 受講料にはテキスト代、施設園芸技術指導士補試験の受験料を含みます。受験しない場合も受講料に変更はありません。

※ 開講1週間前からのキャンセルの場合には、受講料の40%をキャンセル料として申し受けます。
9. 予定講師：施設園芸・植物工場ハンドブックの執筆者を中心とした施設園芸各分野に精通された方々（別紙カリキュラムのとおり）

10. 使用テキスト：

「施設園芸・植物工場ハンドブック」、「園芸用被覆資材」、「園芸用施設安全構造基準（平成 28 年度版）」、「養液栽培のすべて」、各講師作成のテキスト

※上記 4 種類のテキストすべてを所持し、購入不要の方は、受講料から 10,000 円差し引きます。

11. 受講申込：別紙申込書に必要事項を記入の上、責任者の承認を受けて郵送又は F A X にてお申し込み下さい。先着順ですので、なるべく早くお申し込み下さい。

12. 受講申込締切：平成 3 0 年 7 月 1 3 日(金) (30 名になり次第締め切ります)

13. 受講料支払方法：受講申込み受付終了後に請求書をお送りします。

14. 施設園芸技術指導士補資格試験及び同資格の授与：

施設園芸技術指導士補試験実施要領により、講座開講前にレポートを作成・提出して頂くとともに、講座最終日に筆記試験を行います。合格し、登録した方には施設園芸技術指導士補の資格を授与します（登録料 20,000 円が必要となります）。

15. 研修期間中の宿泊・食事等：

1) 宿泊：研修会場周辺の宿泊施設は以下のとおりです。宿泊される方は各自お手配ください。

(1) 三井ガーデンホテル柏の葉 つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅から徒歩約 2 分
千葉県柏市若柴 178-4 柏の葉キャンパス 148 街区 2 TEL:04-7134-3131

<http://www.gardenhotels.co.jp/kashiwanoha/>

(2) ホテルサンオーク柏の葉 つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅から徒歩約 10 分
千葉県柏市若柴 281-104 TEL:04-7135-3009

<http://www.sun oak.net/kashiwanoha/>

(3) ホテルデルプラド つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅から徒歩約 10 分
千葉県柏市若柴 257 TEL:04-7131-7188

<http://www.hotel-delprado.com/>

2) 昼食：つくばエクスプレス柏の葉キャンパス駅周辺に「ららぽーと柏の葉」等飲食店がいくつかあります。

3) その他：①万一の場合に備えて、健康保険証を持参して下さい。

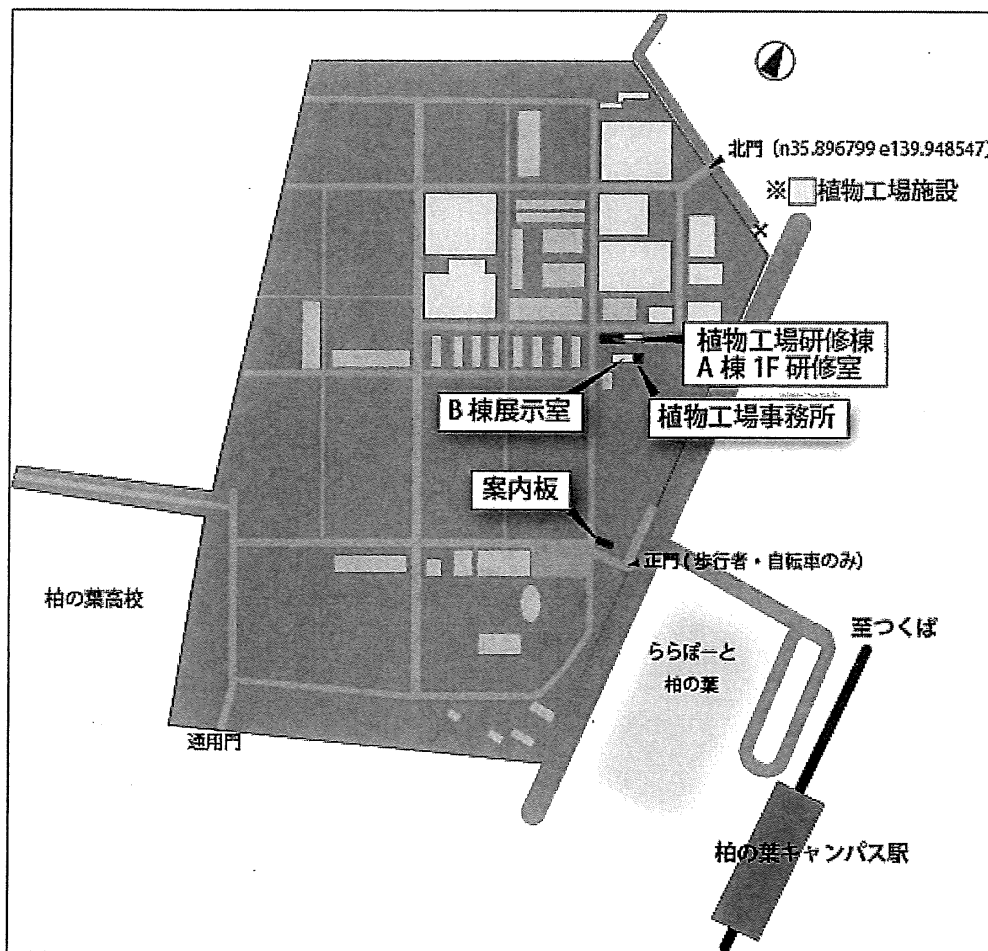
②会場には駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

16. 問い合わせ先：〒103-0004 東京都中央区東日本橋 3-6-17(山一ビル 4 階)

一般社団法人 日本施設園芸協会 調整部長 長岡

TEL:03-3667-1631 FAX:03-3667-1632 E-mail:nagaoka@jgha.com

千葉大学環境健康フィールド科学センター内
植物工場施設案内図



平成30年度(第13回)施設園芸技術中級講座カリキュラム(案)

(平成30年8月29日～8月31日)

	講 義 名	時 間	講師名	役 職 名 等
8 月 29 日 (水)	開講式(挨拶)	9:20	鈴木 秀典	(一社)日本施設園芸協会 会長
	①ハウスの設計・施工管理・保守管理	9:30～10:40 (70分)	渡辺 一正	全国農業協同組合連合会 営農・技術センター 副審査役
	②植物生理に適応した施設作物の栽培法 (昼休み)	10:50～12:20 (90分)	鈴木 克己	静岡大学 農学部 生物資源科学科 教授
	③施設園芸とICT(情報通信技術)利用	13:20～14:40 (80分)	星 岳彦	近畿大学 生物理工学部 生物工学科 教授
	④青果物流通の概要と課題	14:50～16:10 (80分)	小林 茂典	農林水産省 農林水産政策研究所 総括上席研究官
	⑤大型施設園芸における経営管理問題と 人材育成 交流(懇親)会	16:20～17:20 (60分) 17:40～	田口 光弘	農研機構 中央農業研究センター 主任研究員
8 月 30 日 (木)	⑥施設園芸における換気・気流制御	8:50～10:20 (90分)	佐瀬 勘紀	日本大学 生物資源科学部 生物環境工学科 教授
	⑦被覆資材の種類と利用 (昼休み)	10:30～12:00 (90分)	川嶋 浩樹	農研機構 西日本農業研究センター 傾斜地野菜生産グループ長
	⑧病虫害防除のための施設(地上部・地下 部)環境の管理	13:00～14:10 (70分)	川城 英夫	全国農業協同組合連合会 耕種総合対 策部 営農企画課 主席技術主管
	⑨園芸用施設の安全構造基準と災害対策	14:20～15:50 (90分)	森山 英樹	農研機構 農村工学研究部門 上級研究員
⑩植物工場の概要と見学	16:00～17:30 (90分)	塚越 覚	千葉大学 環境健康フィールド科学 センター 准教授	
8 月 31 日 (金)	⑪養液栽培における培養液管理技術	8:30～10:10 (100分)	福田 直也	筑波大学 つくば機能植物イノベーション 研究センター 准教授
	⑫夏期の高温対策技術および暖房・保温・ 省エネ技術 (昼休み)	10:20～12:20 (110分+休10分)	林 真紀夫	東海大学 名誉教授
	指導士補試験(筆記試験)	13:20～15:20 (120分)		
	閉講式(挨拶、修了証書授与)	15:40～		

※ カリキュラム及び講師については、都合により変更することがあります。

平成30年度(第13回)施設園芸技術指導士補資格試験実施要領

平成29年12月12日
施設園芸技術者研修及び
資格認定委員会

1. 試験目的

施設園芸技術指導士補（以下、指導士補という。）にふさわしい知識・技術の習得がなされているかを審査する。

2. 試験方法

試験は、施設園芸技術中級講座（以下「中級講座」という。）の一環として、事前提出レポート及び筆記試験により行う。

事前提出レポート及び筆記試験の出題範囲は、中級講座の講義内容及び「施設園芸・植物工場ハンドブック」、「園芸用被覆資材」、「園芸用施設安全構造基準」、「養液栽培のすべて」の記載内容からとする。なお、筆記試験においては、参考書の持込は可とする。

3. 筆記試験の実施時期

中級講座の最終日に実施する。本年度は、平成30年8月31日（金）とする。

4. 筆記試験場所

千葉県柏市柏の葉6-2-1

千葉大学柏の葉キャンパス千葉大学環境健康フィールド科学センター内
植物工場研修棟A棟1階研修室

5. 受験資格

試験を実施する年度の中級講座受講者とする。

6. 受験申込み

中級講座の受講申込書をもって受験申込書とする。

7. 受験料

中級講座の受講料に含む。

8. 事前提出レポート

①受講者に開講前(3週間程度)にテーマを提示する。

②受講者は、提示されたテーマの中から3テーマを選択し、レポートを中級講座初日までに提出する。

③レポートについては、A4：1枚(1,000字)程度とし、施設園芸に対する真摯な姿勢で記載されたものとする。

9. 事前提出レポートと筆記試験の採点

中級講座の講師等により採点を行う。

10. 資格授与の可否

施設園芸技術者研修及び資格認定委員会は、事前提出レポート及び筆記試験の結果を踏まえ、資格授与の可否を決定する。資格授与者に対しては資格認定証及び資格登録証を交付する。

11. 資格登録料 20,000円

12. 資格有効期間

資格の有効期間は5年間とする。ただし、一定の条件を満たした場合は更新できるものとする。